

ネイティブ アルトロバクター・ウレアファシエンス α (2→3,6,8,9) ニュラミニダーゼ

Cat. No. NATE-0756

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ノイラミニダーゼ酵素は、ノイラミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシダーゼ酵素 (EC 3.2.1.18) です。ノイラミニダーゼ酵素は大きなファミリーで、さまざまな生物に存在します。最もよく知られているノイラミニダーゼはウイルス性ノイラミニダーゼで、インフルエンザ感染の増殖を防ぐための標的ターゲットです。ウイルス性ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザノイラミニダーゼのいくつかの異体は、ウイルスに他のものよりも高い病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。

用途 ノイラミニダーゼは、すべての非還元性の直鎖状N-アセチルノイラミン酸およびN-グリコリルノイラミン酸残基を、 α (2→6)、 α (2→3)、 α (2→8)、および α (2→9) リンケージの加水分解によって切断することができる重要な脱糖酵素です (親和性は示された順序で)。分岐したシアル酸も、高濃度の酵素と長時間のインキュベーションを使用することで切断される可能性があります。脱シアル化された糖タンパク質は、その後、さまざまなエクソグリコシダーゼで処理され、部分的または完全なO-脱糖化が行われることでさらに特性評価されることがあります。SDS-PAGEおよびMALDI-TOF MSは、通常、精製、構造解析、および配列決定プロセスに利用されます。これらの技術は、糖タンパク質から不均一性と電荷を除去することも行います。

別名 神細胞酸化酵素; シアリダーゼ; α -神細胞酸化酵素; アセチル神細胞酸化酵素; エキソ- α -シアリダーゼ; EC 3.2.1.18; 9001-67-6

製品情報

由来 アルトロバクター・ウレアファシエンス

形態 . 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.2.1.18

CAS登録番号 9001-67-6

単位定義 1ユニットは、pH 5.5、37°Cで2-(4-メチルウンベリフェロン) α -D-N-アセチルノイラミン酸から1 nmoleの4-メチルウンベリフェロンを分解放出します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C